

実践レポート

【報告者】橋田京子		
【学年】	6 年	【教科・単元名など】図画工作科 題材名「イマジン」
【実践内容】		
本題材を通してのねらい		
<ul style="list-style-type: none">・版画（ステンシル）技法をいかして、イメージしたものを自由に表現する。・水彩画の技能を身につける。・表現することの楽しさを味わわせる。		
<活動の流れ>		
1、色々な色を作って彩色する。 作った色で塗り絵をする。		<ul style="list-style-type: none">・パレットの使い方・赤・青・黄の三色で色を作る。・筆洗の仕方・花、海、宇宙など
2、赤・青・黄の三色で色を作り、絵を描く。		
3、「イマジン」の制作 作品の作り方に興味を持つ。 色々なイメージを話し合う。 イメージしたものを、水彩で描く。 シールの効果について理解する。 シールを貼り、たんぽや手で彩色する。（3回繰り返す） シールをはがす。 作品に題名をつける。		<ul style="list-style-type: none">・事前に制作したものを見せる。・下書きなしに描かせる。・大きさ、形、方向などによってイメージが違ってくること。・だんだん濃い色をつける。
【反省】絵を描くことに苦手意識を持っている児童が多い。また、水彩画の技能が身に付いていないという実態もある。活動1では作った色でブドウの絵に彩色した。少しずつ色を作りながら彩色することで、素敵な絵に仕上がった。子どもたちの顔も嬉しそうであった。「イマジン」という題材は、イメージしたものを描きシールで隠し再び彩色するという技法を使う。最終的に、初めの絵が見えなくなったものが、シールをはがしていくことによって、不思議な世界が現れてくる。シールをはがしていく時のドキドキする気持ちや、現れた不思議な世界を見たときの子どもたちの満足そうな顔が印象的であった。作品の題名からも子どもたちの思いが伝わってくる。絵が苦手な児童も十分楽しめる題材であると感じた。		